

## 教会の目的 エペソ人への手紙 1-4

今日から教会の統治とYIBCの新しい規則の制定に関連するいくつかのテーマについて、短い説教シリーズを始めたいと思います。今回の説教シリーズでお伝えしたいことは、聖書が定める教会としての要件を満たすために、なぜ新しい規則がこのような形になっているのか、またそのことを宗教法人として存在するために日本の法的要件とどう組み合わさっているのかということです。教会の規則は、このどちらをもきちんと満たすものでなくてはなりません。ですが、教会の統治についてお話しする前に、教会の目的とは何かを理解する必要があります。このことについて、規則の前文と第二条の中で触れています。しかし、そこに書かれていることは、聖書が教会の目的として示していることほど重要ではありません。私たちが規則の中で成そうとしていることは、そこに聖書が示している教会の目的を明確に反映させることです。

教会の目的が何なのかについては色々な考え方があります。様々な本で相反する考え方が紹介されています。教会の聖書的な目的の核心を捉えているものもあれば、そうでないものもあります。その多くは、教会の真の目的よりも、教会が何をすることに重きを置いています。そうした本の著者に従うよりも、今日は聖書の中のエペソ人への手紙に目を向けたいと思います。この書簡については2019年に説教しましたが、そこに教会の目的が何であるかが丁寧に記されていることが私には印象に残りました。ですから、エペソ人への手紙の最初の4章から、教会の目的を見出すことのできる箇所をいくつか見ていきたいと思います。

**エペソ人への手紙 1:11-12 から見て見ましょう。**「11 またキリストにあって、私たちは御国を受け継ぐ者となりました。すべてをみこころによる計画のままに行う方の目的にしたがい、あらかじめそのように定められていたのです。12 それは、前からキリストに望みを置いていた私たちが、神の栄光をほめたたえるためです。」教会は私たちではなく、イエス・キリストに始まり、イエス・キリストに終わります。私たちは、イエス・キリストの十字架の死により救われるよう定められているのです。そして私たちが救われるのは、私たちが幸せになるためでも、最高の人生を送るためでも、私たちの祈りが聞き届けられるためでもありません。救いの究極の目的は、神に栄光を帰すことです。神に栄光を帰すという救いの目的は、私たちの行動の全ての指針となるはずで、そしてその目的は、職場で、学校で、家庭で、休暇中であっても、私たちが教会と呼ぶ他の信徒との集いの場であっても、決して変わることはありません。また、信者は共に集うよう意図されていることが分かります。神に栄光をもたらすという体験において私たちは孤立している訳ではありません。エペソ人への手紙の次の箇所を見て下さい。エペソ人への手紙 2:19-22

「19 こういうわけで、あなたがたは、もはや外国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。21 このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。22 あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。」11節から述べられているように、キリストに在るということは、私たちを通して神の栄光がほめたたえられることを意味します。神は私たちを神の家族の一員とすることでご自身の栄光を示すことを選ばれたのです。世の多くの人は自分の居場所を探します。神の救いのご計画とは、その居場所を与えることなのです。神はその救いのご計画において永遠の命を与えてくださるだけでなく、永遠の家族を与えてくださいます。ここで、その永遠の家族は国籍と市民権を得る場所として…一人一人がその堅固で必要な部分である建物として…そして神の栄光のために建てられる神の臨在の場である宮として表現されています。つまり、この教会についての説明の中で、信徒が集い、その体の一部となり、その集まりも神の栄光のために存在するのだということが明らかになっています。

規則案の中で、私たちは教会として何よりもイエス・キリストに栄光を帰すために存在するのだという、この理解が反映されることに努めました。それは教会のビジョン・ステートメントの基礎となっていて、第2条に含まれているもので、スクリーンでもご覧いただけるかと思います。

「わたしたちは、言語や文化の如何にかかわらず、互いに愛をもって仕え合い、一致し、祈り心

をもち、聖書をとおしてキリストの弟子を整えることにより、また、イエス・キリストを信じる者および新しい教会を生み出すことによって、神の栄光を現す教会として存在する。」私たちは神の栄光という土台から始める訳ですが、そのためにはもちろん、教会として神に栄光を帰すために具体的な事をする必要があります。エペソ人への手紙 3 章をご覧ください。エペソ人への手紙 3:10-11 には「10 これは、今、天上にある支配と権威に、教会を通して神のきわめて豊かな知恵が知らされるためであり、11 私たちの主キリスト・イエスにおいて成し遂げられた、永遠のご計画によるものです。」とあります。教会は神の栄光を広めることによって、神に栄光を帰します。聖書はここで、神は教会を通してご自分の知恵を知らしめると言っています。この文脈から見ることは少し難しいですが、これを第一ペテロの一節と照らし合わせると理解する助けとなります。ペテロの手紙第一 1:12 は「12 彼らは、自分たちのためではなく、あなたがたのために奉仕しているのだという啓示を受けました。そして彼らが調べたことが今や、天から遣わされた聖霊により福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。御使いたちもそれをはっきり見たいと願っています。」とあります。神は教会による福音の宣教を通してご自分を現わされます。神に栄光を帰す教会は、そのようにして神の栄光を世界に広げるのです。神の栄光と教会の宣教活動は完全に連動しているのです。ジョン・パイパー牧師は「諸国民よ、喜べ」という著書の中で、神学者ジョン・ストット氏の言葉を引用してこう述べています。「宣教の動機の最たるものは、大宣教命令に従うためでも、疎外され滅びゆく罪人に対する愛のためでもなく、イエス・キリストの栄光のため、燃える情熱的な熱意のためである。」この神に栄光を帰すという使命ゆえに、私たちの教会のビジョンと規則案の第二条目的のどちらにも宣教が含まれているのです。

エペソの手紙を読み進め、3:20-21 を見ていきましょう。「20 どうか、私たちのうちに働く御力によって、私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に、21 教会において、またキリスト・イエスにあって、栄光が、世々限りなく、とこしえまでもありますように。アーメン。」この教会を通して神の栄光を示すという目的は、何度も繰り返されます。そして、そこに見るのはこの神の栄光という目的は決して変わることがないということです。冒頭で、教会の目的を定義しようと試みる本がたくさんあるとお話ししました。今日、教会とは何を意味するのかについて、かつてないほど多くの相反する考え方が存在します。そのような考えの多くは、私たちが教会の目的を再定義する必要があると思うから存在しています。より多くの人を惹きつけるためには、教会がまったく別のものになる必要があると考えているからです。しかし、神が教会に集う人の数にこだわられたことは未だかつてありません。あらゆる時代、文化、場所において、教会がイエス・キリストの栄光を現すという唯一の目的に常にその御心を注がれます。

そして、キリストの体として世代や場所を越えて私たちを結び付けるため、神が与えてくださった教会としての二つの特徴があります。一つは聖霊、もう一つは聖礼典あるいは聖餐です。次の箇所、エペソ人への手紙 4:4-6 を見て下さい。「4 あなたがたが召された、その召しの望みが一つであったのと同じように、からだは一つ、御霊は一つです。5 主はひとり、信仰は一つ、バプテスマは一つです。6 すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父である神はただひとりです。使徒の働きにある教会の始まりから今日まで、キリストの体の一部である私たちの内には同じ聖霊がおられるということです。イエス・キリストを主であり救い主として受け入れた、過去の全ての人と同じく、文字通り聖霊なる神ご自身が私たちの内にも生きておられるのです。コリント人への手紙第一 6:19 には「19 あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。」とあります。神ご自身の存在が、私たちは誰に属しているのか、私たちの究極の住処、家族はどこにあるのかを示しています。聖霊が、時代を超えて私たちを他の全ての信徒と結び付け、教会として私たちを結び付けるのです。

内なる聖霊に加えて、神は教会の始まりから今日に至るまで、教会に関わる二つの礼典を私たちに与えてくださいました。それらは洗礼と主の晩餐（聖餐式）です。これらはそれぞれ私たちに神の栄光を示すものです。洗礼は一度限りのもので、私たちが主であり救い主であるイエス・キリストに完全に従い委ねることを示すものです。水に浸ることによってイエスの死を、水から出ることでイエスの復活を表すことから、イエスが与えてくださる新しい復活の命を意味します。同時に、水に浸ることは私たちが己に死ぬことを象徴し、水から出ることはイエス・キリストを通して生きると与えられた新しい命を象徴しています。ローマ人への手紙 6:4 は「4 私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、ちょうどキリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいいのちに歩むためです。」と述べています。これらの礼典はキリストの体に一致をもたらす、この世に在るあらゆる隔たりを越えて私たちが互いに結びつけるべきです。そして、このキリストの体に在る繋がりは、神ご自身にある一致を指し示すことで神を称えます。私たちの内に聖霊なる神が宿られ、子なる神でおられるイエス・キリストの犠牲的な死によって救われ、父なる神の主権ある恵みによって救いに選ばれる一方で、父、子、聖霊の三位一体の神は完全なる一致の中におられます。ですから、キリストの体において私たちが体験し示す一致は、神を称えるのです。私たちはこの一致と礼典までも規則案の中の教会の目的だけでなく、教会のビジョンステートメントにも含めています。

最後に、教会の目的について述べている箇所をもう一つ、エペソ人への手紙 4:11-13 に注目して頂きたいと思います。エペソ人への手紙 4:11-13 「11 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。13 私たちはみな、神の御子に対する信仰と知識において一つとなり、一人の成熟した大人となって、キリストの満ち満ちた身丈にまで達するのです。」教会のリーダーシップについては今後の説教で具体的に説明致しますが、今日の所は、教会がその目的を果たすリーダーシップのもとにあるならば、それは神の栄光を指し示す者であるということ理解して頂ければと思います。教会におけるリーダーシップの目的は聖徒、信徒たちを宣教の働き、つまり教会の働きのために備えることです。皆がミニストリーに参加するために訓練を受け、実際にミニストリーに参加することで、私たちの目的を果たすことで、キリストの体にあって互いを高め合うことができます。互いを高め合うことで最終的に目指すことは私たちがキリストに似た者となることです。文字通りその人のようになりたいと望むこと以上に、その人を讃える方法があるでしょうか。私たちは教会の中で自分に与えられた役割を果たし、それによって救い主イエス・キリストに益々似た者とされていくことによってキリストを褒め称えるのです。

今日の聖書箇所と規則案の最初の 3 条を読んで、神が教会とご自分の民に変わる事なくお持ちの目的は、すべてにおいて神を褒め称える事であると言うことが明確になったことを願っています。今日、最初に見たエペソ人の手紙 1:11-12 に戻ると、神に栄光を帰すことは救いから始まります。エペソ人への手紙 1:11-12 はこのように述べています。「11 またキリストにあって、私たちは御国を受け継ぐ者となりました。すべてをみこころによる計画のままに行う方の目的にしたがい、あらかじめそのように定められていたのです。12 それは、前からキリストに望みを置いていた私たちが、神の栄光をほめたたえるためです。」神を褒め称えることは、あなたの希望、信仰、信頼を、救いのために子なる神であるイエス・キリストのみに置くことから始まります。キリストにあって真に御国を受け継ぐため、神の体の部分となり、キリストの教会、キリストの家族の一員になることは、イエス・キリストの内にあってのみ初めて可能となります。神の目的はご自分の栄光を示すことであり、その中心はご自身の創造の御業の最たるものである人を通して行われます。神は私たちが、神を褒め称えるという目的のために創造されたのです。ですが、もしあなたがここにあり、イエス・キリストを自分の主であり救い主として受け入れておられないなら、あなたは本当の意味で教会の一員ではなく、真に神を称えることは決してできません。洗礼を受けて、この教会の会員名簿に名前が載っていたとしても、あなたの信仰が十字架の

業をあなたのために成して下さったイエス・キリストになれば、あなたは神を褒め称えることはできません。教会の会員であることや、教会に出席することがあなたを救う訳ではありません。洗礼があなたを救う訳ではありません。聖餐式に与ることがあなたを救う訳ではありません。祈りを唱えることが救う訳でもありません。イエス・キリストに根ざした信仰があなたを救うのです。使徒の働き 16:31 は「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」と言っています。そうすれば、エペソ人への手紙 3:21 に「21 教会において、またキリスト・イエスにあって、栄光が、世々限りなく、とこしえまでもありますように。アーメン。」とあるように、あなたは真に教会の一部となり、洗礼を通して主に従順であることで神に栄光を帰し、教会が集う時キリストの体と共に神を礼拝し、教会の目的を果たすためにあなたに与えられた役割を果たすことができるのです。祈りましょう。

## The Purpose of the Church – Ephesians 1-4

Today, I want to begin a short series that will cover a number of subjects that relate to the governing of the church and the forming of a new Constitution for YIBC. What I hope to show with this series is why the new Constitution is shaped the way it is in order to fulfill the Biblical requirements for being the church and how we combine that with the legal requirements in Japan to exist as a religious entity. The Constitution of a church should allow us to do both of those things well. Before we can talk about the governing of the church, though, we need to understand what the purpose of the church is. We address this in the Preamble to the proposed Constitution and Article 2. But what we say there is not nearly as important as what the Bible shows as the purpose of the church. What we are trying to do in the Constitution is reflect clearly what the Bible declares to be the purpose of the church.

There are a lot of different ideas of what the purpose of the church is. There are competing ideas in different books. Some are better at getting to the core of the Biblical purpose for the church than others are. Most of them focus more on what the church does more than the true purpose of the church. Instead of following those authors, I would point us this morning to the one particular book in the Bible – Ephesians. I preached through this book back in 2019, and it struck me that the book of Ephesians carefully lays out what the purpose of the church is. So, I want to work through some passages in the first 4 chapters of Ephesians where we will discover the purpose of the church.

Let's begin with **Ephesians 1:11-12**. **<sup>11</sup> In him we have obtained an inheritance, having been predestined according to the purpose of him who works all things according to the counsel of his will, <sup>12</sup> so that we who were the first to hope in Christ might be to the praise of his glory.** The church begins and ends not with us, but with Jesus Christ. We have been predestined to salvation through his death on the cross. And the whole purpose of our salvation is not so we can be happy, have our best life, or even have our prayers answered. **The ultimate purpose of our salvation is to bring glory to God.** That purpose of our salvation, to bring glory to God, should then guide everything we do. And that purpose never changes, whether you are at work, at school, at home, on vacation, or even gathered together with other believers in what we call the church. And we do see that believers are intended to be gathered together. We are not alone in this experience of bringing glory to God. Let's look at the next passage in Ephesians, **Ephesians 2:19-22**. **<sup>19</sup> So then you are no longer strangers and aliens, <sup>(a)</sup> but you are fellow citizens with the saints and members of the household of God, <sup>20</sup> built on the foundation of the apostles and prophets, Christ Jesus himself being the cornerstone, <sup>21</sup> in whom the whole structure, being joined together, grows into a holy temple in the Lord. <sup>22</sup> In him you also are being built together into a dwelling place for God by the Spirit.** Being in Christ, as verse 11 began, means that God glorifies himself through us. And he chooses to glorify himself by making us a part of his family. So many people in the world are looking for a place to belong. And God's plan with salvation is to provide that place to belong. God in his sovereign plan of salvation is not just providing eternal life, he provides an eternal family. That eternal family is described here as a place to find a nationality and citizenship... a building where each of us becomes a strong and necessary part of the entire structure... and finally a temple that becomes the place of God's presence built for his glory. So again in this description of the church, it becomes clear that **God**

intends believers to be gathered together and be a part of this body, and that even this gathering exists for exist for the glory of God.

In our proposed Constitution, I have tried to reflect this understanding that above all other things, we exist as a church to bring glory to Jesus Christ. It has formed the basis of our vision statement, which is incorporated in article 2, and you can [see on the screen](#). We exist to glorify God by prayerfully equipping followers of Christ through the Word of God to serve each other in loving unity regardless of language or culture and reproduce in new believers and new churches. We start with the foundation of God's glory, but that entails of course that there are specific things we are supposed to do as a church that bring glory to God. Look at Ephesians 3 as our next passage. **Ephesians 3:10-11** says, <sup>10</sup> so that through the church the manifold wisdom of God might now be made known to the rulers and authorities in the heavenly places. <sup>11</sup> This was according to the eternal purpose that he has realized in Christ Jesus our Lord... **The church brings glory to God by spreading his glory to others.** The Bible says here that it is through the church that God makes his wisdom known. The context here makes it a little difficult to see, but when you compare it with a verse in 1 Peter, it helps us see this context. **1 Peter 1:12** says, **It was revealed to them that they were serving not themselves but you, in the things that have now been announced to you through those who preached the good news to you by the Holy Spirit sent from heaven, things into which angels long to look.** God is revealing himself through the preaching of the Gospel by the church. This is how the church who glorifies God spreads God's glory into his world. The glory of God and the missions activity of the church are completely intertwined. **In his book, "Let the Nations Be Glad," Pastor John Piper quotes the theologian John Stott who says the following: The highest of missionary motives is neither obedience to the Great Commission ... nor love for sinners who are alienated and perishing ... but rather zeal—burning and passionate zeal—for the glory of Jesus Christ...** Given this missions focus in bringing God glory, it is included in both our vision statement and our proposed Constitution under article 2, Purpose.

As we continue through the book of Ephesians, let's drop down just a few verses to **Ephesians 3:20-21.** <sup>20</sup> Now to him who is able to do far more abundantly than all that we ask or think, according to the power at work within us, <sup>21</sup> to him be glory in the church and in Christ Jesus throughout all generations, forever and ever. Amen. This purpose of God's glory being displayed through the church just repeats itself over and over. And what we now see is that **this purpose of God's glory never changes.** I said at the beginning that there are many books written that try to define the purpose of the church. There are probably more competing ideas of what it means to be the church today than at any time in history. Many of these competing ideas exist because we think we need to reinvent what the purpose of the church is. We think in order to attract more people it need to become something else entirely. But God has never been concerned with the number of people attending a gathering of the church. He has always been committed to his one purpose, that the church display the glory of Jesus Christ in every generation and time and in every culture and place.

And there are two distinctive features of the church that God has given to bind us together from generation to generation and place to place as the Body of Christ. The first is the Holy Spirit, and the second the ordinances or sacraments. Look at our next passage, **Ephesians 4:4-6.** <sup>4</sup> There is one body and one Spirit—just as you were called to

the one hope that belongs to your call— <sup>5</sup> one Lord, one faith, one baptism, <sup>6</sup> one God and Father of all, who is over all and through all and in all. The fact that from the beginning of the church in the book of Acts to the present day, everyone of us who is a part of the Body of Christ shares in the same indwelling Holy Spirit. We literally have God the Holy Spirit himself living in us along with everyone throughout history who has accepted Jesus Christ as their Lord and Savior. **1 Corinthians 6:19 says, Or do you not know that your body is a temple of the Holy Spirit within you, whom you have from God? You are not your own...** That presence of God himself shows who we belong to and where are ultimate home and family are. It is God's Holy Spirit that unites us across the ages with every other believer and who unites us together as the church.

In addition to the indwelling Holy Spirit, God gives us two ordinances or commands that pertain to the church from its beginning until the present day. These ordinances are baptism and the Lord's supper or Communion. Each of these in their own way points us to the glory of God as well. Baptism as a one time act shows our full obedience and submission to Jesus Christ as Lord and Savior. It signifies his death by going under the water, his resurrection by coming out of the water, and therefore the new resurrection life he offers. At the same time going under the water symbolizes our dying to our self and coming out of the water symbolizes the new life we are raised to live through Jesus Christ. So, **Romans 6:4 says, We were buried therefore with him by baptism into death, in order that, just as Christ was raised from the dead by the glory of the Father, we too might walk in newness of life.** The ordinances should bring unity within the Body of Christ and unite us with each other across whatever boundaries our world separates us with. **This unified connection with the Body of Christ then glorifies God by pointing to the unity of God himself.** While we are indwelt by God the Holy Spirit, saved through the sacrificial death of God the Son Jesus Christ and chosen for salvation by the sovereign grace of God the Father, all three Father, Son and Spirit dwell together as One God who exist in perfect unity as three persons. So the unity that we should experience and show in the body of Christ glorifies God. We address that unity and even the ordinances all within the purpose of the church in the proposed Constitution as well as including this unity in our church vision statement.

And finally, I want to draw your attention to one more passage in Ephesians 4:11-13 that addresses the purpose of the church. **Ephesians 4:11-13 says, <sup>11</sup> And he gave the apostles, the prophets, the evangelists, the shepherds and teachers, <sup>12</sup> to equip the saints for the work of ministry, for building up the body of Christ, until we all attain to the unity of the faith and of the knowledge of the Son of God, to mature manhood, to the measure of the stature of the fullness of Christ...** We will address church leadership specifically in an upcoming sermon, but for now, I want us to see that **if a church has leadership that is fulfilling its purpose, its also points to God's glory.** The purpose of leadership in the church is to equip the saints, the believers, for the doing the work of ministry, in other words the work of the church. As we all fulfill our purpose both in training to do ministry and actually doing ministry, we build each other up in the body of Christ. The ultimate goal of building each other up is to reach the goal of Christlikeness. What better way to give glory to someone than to literally want to become like them?! We glorify Christ by fulfilling our roles within the church and thereby becoming more and more like our Savior Jesus Christ!

I hope that what is clear from Scripture today and in reading the first three articles of our proposed constitution is that **the unchanging purpose of God for his church and his people is to glorify him in everything**. And to go back to where we began with Ephesians 1:11-12, glorifying God begins with salvation. **Ephesians 1:11-12 says, <sup>11</sup> In him we have obtained an inheritance, having been predestined according to the purpose of him who works all things according to the counsel of his will, <sup>12</sup> so that we who were the first to hope in Christ might be to the praise of his glory.** Glorifying God begins with having your hope, your faith and trust, in Jesus Christ and him alone as God the Son for your salvation. We can only truly obtain an inheritance in Christ, which means we become part of his Body, his church and part of his family when we are found in Jesus Christ. God's purpose is to glorify himself, and the primary way he does that is through the ultimate expression of his creation, human beings. He created us for that purpose of glorifying him. But if you are in here today, and have never accepted Jesus Christ as your Lord and Savior, then you aren't really a part of his church and can never truly glorify him. You can be baptized and have your name on the membership roll of this church, and without your faith being in the person and work on the cross done for you by Jesus Christ, you cannot glorify God. Church membership or attendance does not save you. Baptism doesn't save you. Taking the elements of Communion doesn't save you. Saying a prayer doesn't save you. Having your faith rooted in Jesus Christ is what saves you. As **Acts 16:31 says, "Believe in the Lord Jesus and you will be saved."** Once you have done that, then you will be able to truly be a part of the church, to glorify God with your obedience through baptism, to worship God together with the Body of Christ when the church gathers, and to do your part to fulfill the purpose of the church as **Ephesians 3:21 says, <sup>21</sup> to him be glory in the church and in Christ Jesus throughout all generations, forever and ever. Amen** Let's pray.